



住民自らの行動に結びつく
水害・土砂災害ハザード・リスク
情報共有プロジェクト

令和3年度の豪雨災害

令和3年12月17日

国土交通省 近畿地方整備局
琵琶湖河川事務所

静岡県熱海市伊豆山いずさんで発生した土石流災害

国土交通省 砂防部

- 梅雨前線による大雨に伴い、令和3年7月3日10時30分頃に静岡県熱海市伊豆山あいぞめがわの逢初川で土石流が発生。
- 逢初川の上流部 標高約390m地点で発生した崩壊が土石流化し、下流で甚大な被害が発生。
- 熱海雨量観測所における降り始めからの総雨量は400mm以上。7月2日12:30に土砂災害警戒情報発表。

【位置図】

【土石流による被害状況等】



被害状況(7/5撮影)
(写真は国土地理院)

【土石流発生前後の降雨量】

※発災時刻は報道情報による



令和3年7月1日からの大雨による河川氾濫等について

(静岡県、神奈川県)

令和3年7月12日15:00時点

国土交通省 水管理・国土保全局

○ 国管理河川

・狩野川水系黄瀬川^{きせ}で黄瀬川大橋(県道)が沈下。

○ 都道府県管理河川(4水系7河川)

・静岡県 狩野川水系黄瀬川で家屋1戸が流失、富士川水系江尾江川^{えのおえ}等で氾濫。

・神奈川県 金目川水系河内川^{かなめ こうち}等で氾濫。

確認された主な浸水被害

河川名	市町村名	床上浸水(戸)	床下浸水(戸)
富士川水系江尾江川	富士市	22	61
富士川水系高橋川、沼川	沼津市	88	248



※この数値は今後変更になる可能性があります。2

令和3年7月1日からの大雨による河川氾濫や土砂災害について

(鳥取県、島根県、広島県)

令和3年7月12日15:00時点

国土交通省 水管理・国土保全局

- 7月7日未明からの大雨を中心に、^{ひい}斐伊川水系^{いう}意宇川をはじめ鳥取、島根両県であわせて9水系23河川で氾濫。
- 7月8日明け方からの大雨で、^{ほんかわ}本川水系本川で氾濫し、宅地が浸水。^{みつおおかわ}三津大川水系三津大川では氾濫したほか河岸、道路を侵食。
このほか^{めた}沼田川水系^{てんじょう}天井川、^{にゅうの}入野川で堤防が決壊し、田畑等が浸水。広島県ではあわせて6水系7河川で氾濫。
- また、鳥取県、島根県、広島県で36件の土砂災害が発生。鳥取県倉吉市では、^{がけ}がけ崩れにより土砂が建物に流入し、負傷者3名の被害が発生。

鳥取県、島根県、広島県が管理する15水系30河川で氾濫



沼田川水系天井川の堤防決壊 (広島県三原市)



千代川水系清水川 (鳥取県鳥取市)
(国土交通省の排水ポンプ車による排水)



がけ崩れ (鳥取県倉吉市大原)



三津大川水系三津大川の河岸侵食 (広島県東広島市)



本川水系本川の溢水氾濫 (広島県竹原市)

※この数値は今後変更になる可能性があります。
※7月12日以降に発生した被害は未反映です。

令和3年7月1日からの大雨による河川氾濫や土砂災害について

(鹿児島県)

令和3年7月12日15:00時点

国土交通省 水管理・国土保全局

- 川内川流域では、7月10日11時までの12時間で、河川整備の目標とする1/100の雨量※に匹敵する313mmの大雨となった。※おおよそ100年に1回起こる規模の雨量
- 鶴田ダムが洪水調節機能を発揮し、川内川本川の氾濫を防止。鹿児島県管理の川内川支川春田川（薩摩川内市）、白木川（伊佐市）及び米之津川水系米之津川（出水市）で無堤部から溢水し氾濫。
- 国が管理する川内川本川の栗野橋観測所や、支川羽月川の花北観測所では、氾濫危険水位を超過し、警戒レベル4相当の氾濫危険情報を発表。鶴田ダムの緊急放流の可能性などを伝えることにより警戒を促した。
- 鹿児島県で8件の土砂災害が発生。家屋一部損壊の被害が生じたが、人的被害はなし。

■米之津川水系米之津川(鹿児島県管理)
無堤部溢水により4戸の床下浸水。
浸水面積約0.2ha。

■白木川(鹿児島県管理)
無堤部溢水により4戸の床下浸水。
浸水面積約4ha。

■春田川(鹿児島県管理)
溢水と内水により浸水。



※この数値は今後変更になる
可能性があります。

■羽月川(国管理)
堤防法面が損壊。11日朝までに応急対策を完了。
内水により田畑、ビニールハウスが浸水。



羽月川右岸1k付近(伊佐市)
※九州地方整備局がドローンで撮影



【土石流等】鹿児島県薩摩郡さつま町求名

令和3年 全国の土砂災害発生状況(10月31日時点)

※これは速報であり、今後数値等が変わる可能性があります。

土砂災害発生件数

948件

〔 土石流等 : 162件
地すべり : 72件
がけ崩れ : 714件 〕

【被害状況】

人的被害	死者	32名
	行方不明者	1名
	負傷者	13名
家屋被害	全壊	71戸
	半壊	20戸
	一部損壊	159戸

7/8
土石流等

みはら こいずみ
広島県三原市小泉町

8/15
土石流等

おかやしかわざしひがし
長野県岡谷市川岸東

死者 : 3名
負傷者 : 2名

8/17
地すべり

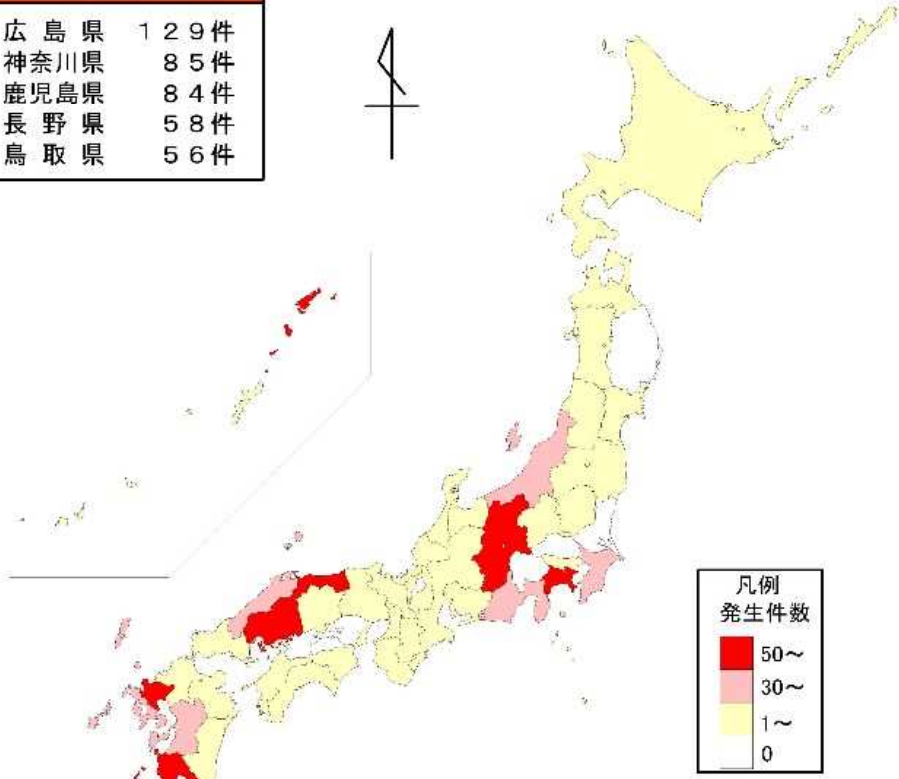
あまくさし ほんどもち
熊本県天草市本渡町

8/14
土石流等

ひろしまし にしく たがた
広島県広島市西区田方

発生件数上位5県

広島県	129件
神奈川県	85件
鹿児島県	84件
長野県	58件
鳥取県	56件



※これは速報値であり、今後数値等が変わる可能性があります。

7/6
地すべり

ながの しののい
長野県長野市篠ノ井

8/12
がけ崩れ

やめし やべむら
福岡県八女市矢部村

7/3
土石流等

あたま いずさん
静岡県熱海市伊豆山

死者 : 26名
行方不明者 : 1名
負傷者 : 3名

滋賀県大津市の土砂災害

国土交通省 近畿地方整備局
 Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism. Kinki Regional Development Bureau

Press release

令和3年8月14日22時40分
 資料配布 滋賀 国道事務所

国道1号の通行規制について(第1報)

- ①大雨の影響に伴う、土砂流出により下記区間で通行止めを行っています。
 - 規制内容：通行止め
 - 規制区間：令和3年8月14日(土) 22時30分～
 (国道1号大津市本宮2丁目交差点～国道1号藤尾南ランプ入口)
 - 迂回路：名神高速道路 大津IC～京都東IC
 - 解除予定：現時点では見込みがたっておりません。
 - 今後の気象情報、道路情報にご注意ください。

畿地方整備局 道路情報提供システム

本日の規制情報を表示します (午後11時59分まで)

08月15日 10:50現在

象情報



近畿高速道路渋滞状況
 選択してください

一般道路渋滞情報

近畿一般道路渋滞状況
 選択してください

県管理道路につきましては渋滞情報を
 余き情報提供していません
 提供: 日本道路交通情報センター

インフォメーション

近畿地方整備局トップ

近畿地方整備局道路部

国土交通省ITSトップ

リンク集

ご意見・ご要望

[道路規制情報]

路線名	国道1号
規制内容	通行止
原因事象	土砂流出
規制開始地点	大津市追分町
規制終了地点	大津市逢坂1
規制開始日時	2021年08月14日 21時30分
規制終了日時	



滋賀県大津市の土砂災害

国土交通省 近畿地方整備局 Press release
 Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism. Kinki Regional Development Bureau

令和3年8月14日15時00分
 資料配布 滋賀 国道事務所

国道161号の通行規制について(第1報)

①大雨の影響に伴う、冠水により下記区間で通行止めを行っています。

- 規制内容：通行止め
- 規制区間：令和3年8月14日(土) 12時10分～
 (国道161号西大津BP(上り) 藤尾南ランプ～坂本北IC)
- 迂回路：国道1号、県道 高島大津線(旧国道161号)
- 解除予定：現時点では見込みがたっておりません。

②大雨の影響に伴う、土砂崩れにより下記区間で通行止めを行っています。

- 規制内容：通行止め
- 規制区間：令和3年8月14日(土) 10時00分～
 (国道161号西大津BP(下り) 近江神宮ランプ～皇子山ランプ)
- 規制区間：令和3年8月14日(土) 13時00分～
 (国道161号西大津BP(下り) 仰木雄琴IC～皇子山ランプ)
- 迂回路：県道 高島大津線(旧国道161号)
- 解除予定：現時点では見込みがたっておりません。

○規制区間については、今後の状況により範囲が変更する場合があります。

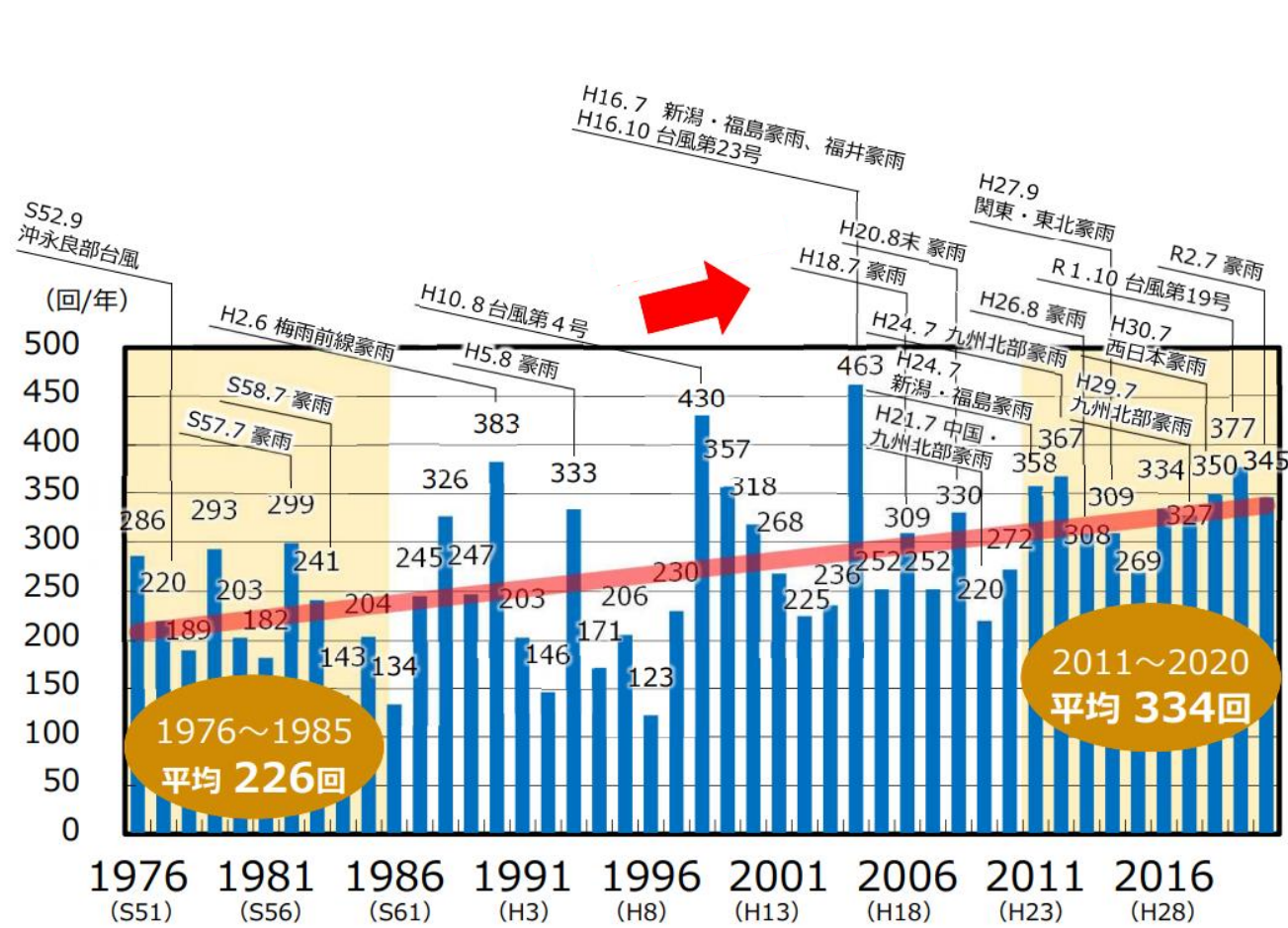
○今後の気象情報、道路情報にご注意ください。

国道161号の通行規制について 宇佐山トンネル(下り)南孔口 土砂崩れ 及び 冠水

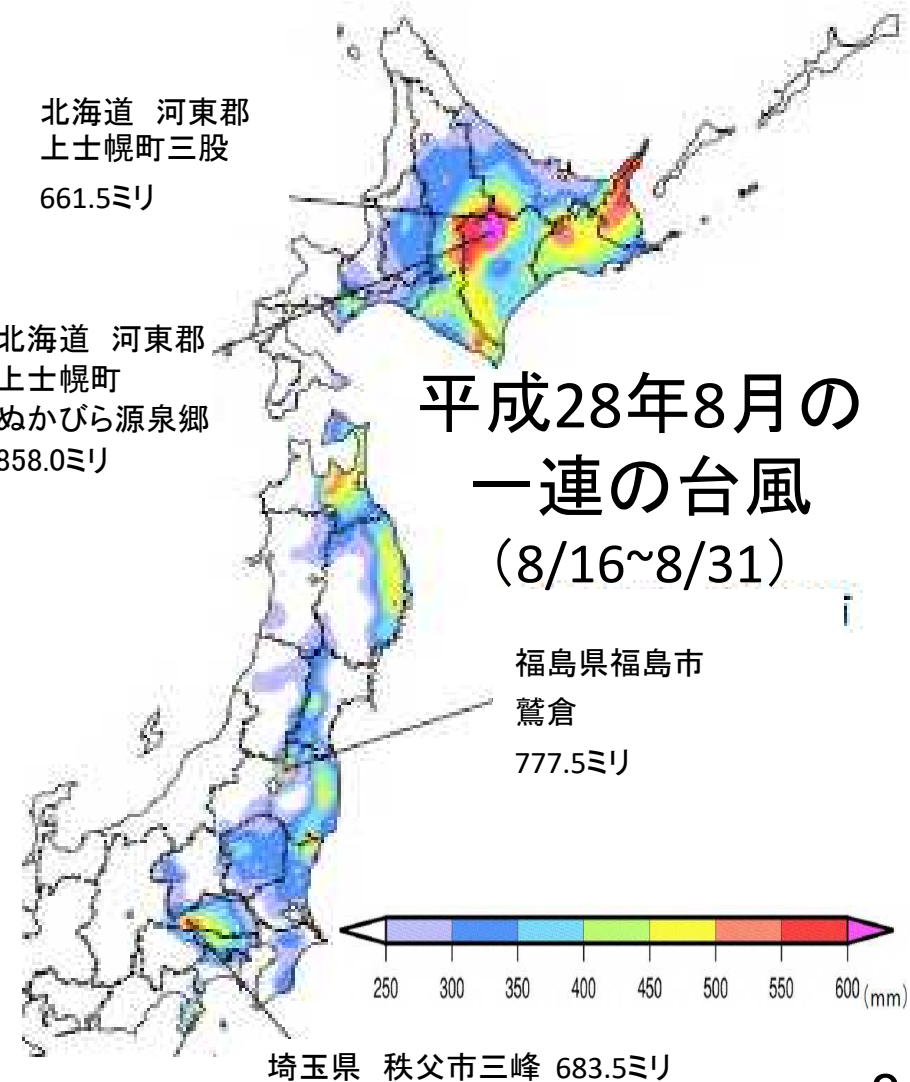


近年、雨の降り方が変化

- 時間雨量50mmを上回る大雨の発生件数がこの35年間で約1.5倍に増加。
- これまで比較的降雨の少なかった北海道・東北でも豪雨が発生。
- 今後、気候変動の影響により、水害の更なる頻発・激甚化が懸念。**

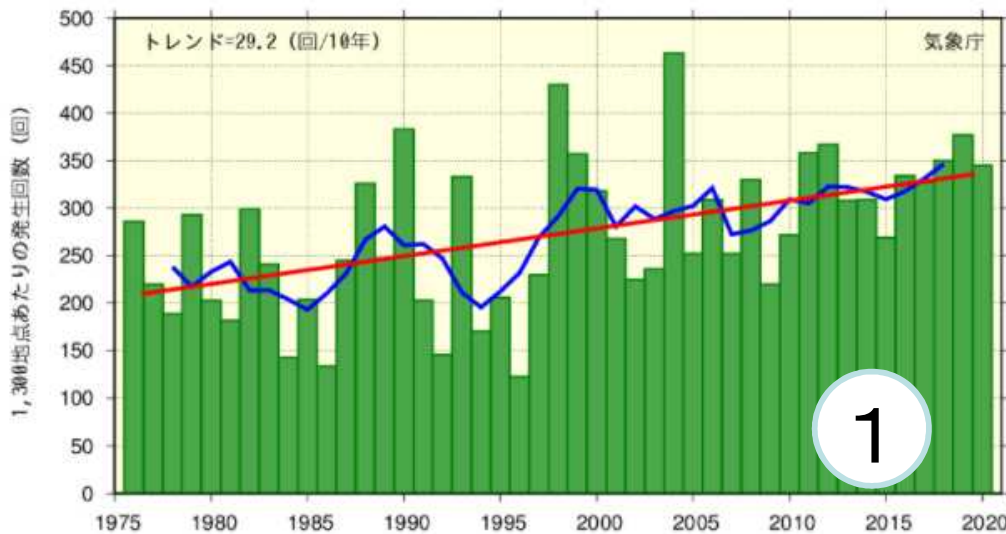


(全国のアメダスによる観測値を1,300地点あたりに換算した値) 気象庁資料より作成

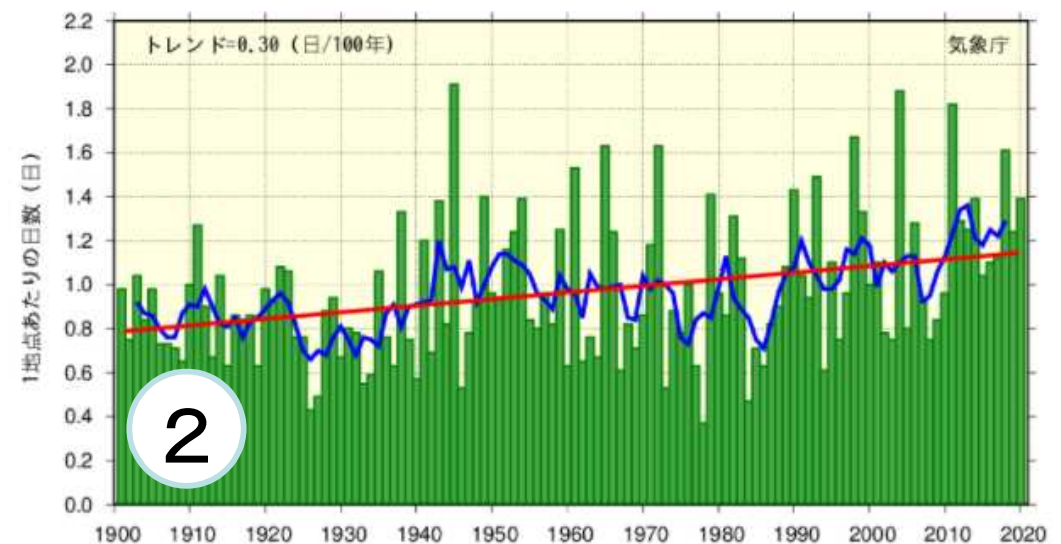


- “非常に激しい雨” や大雨の頻度は増加傾向。
- 一方、降水日数は減少傾向。

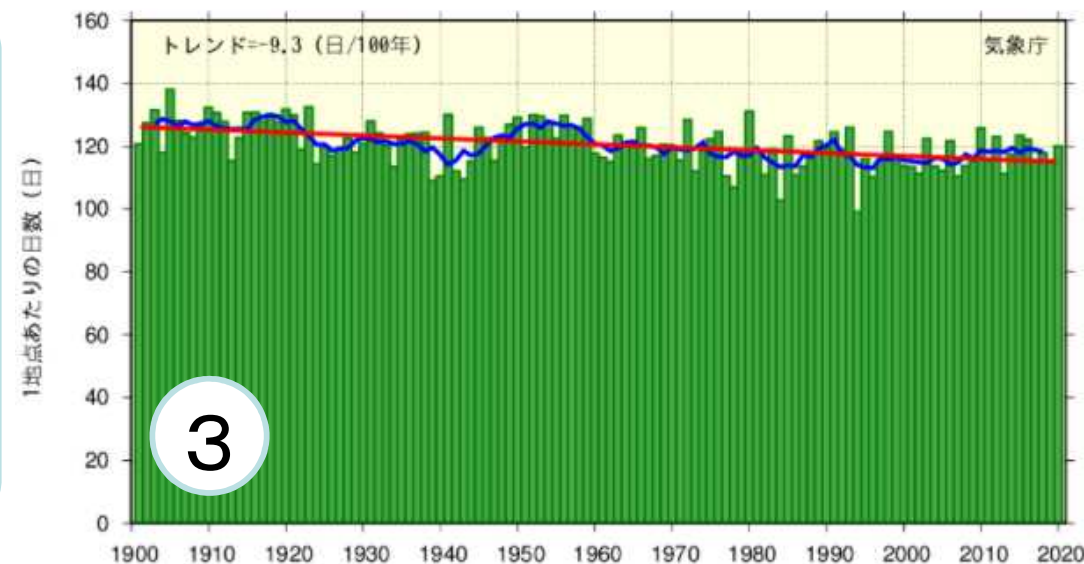
全国【アメダス】1時間降水量50mm以上の年間発生回数



全国【51地点平均】日降水量100mm以上の年間日数



全国【51地点平均】日降水量1.0mm以上の年間日数



- ① 1時間降水量50mm以上の年間発生回数(1976~)
- ② 日降水量100mm以上の年間日数(1900~)
- ③ 雨の降った日(日降水量1.0mm以上)の年間日数(1900~)

気候変動を踏まえた治水計画のあり方 提言 改訂版【概要】

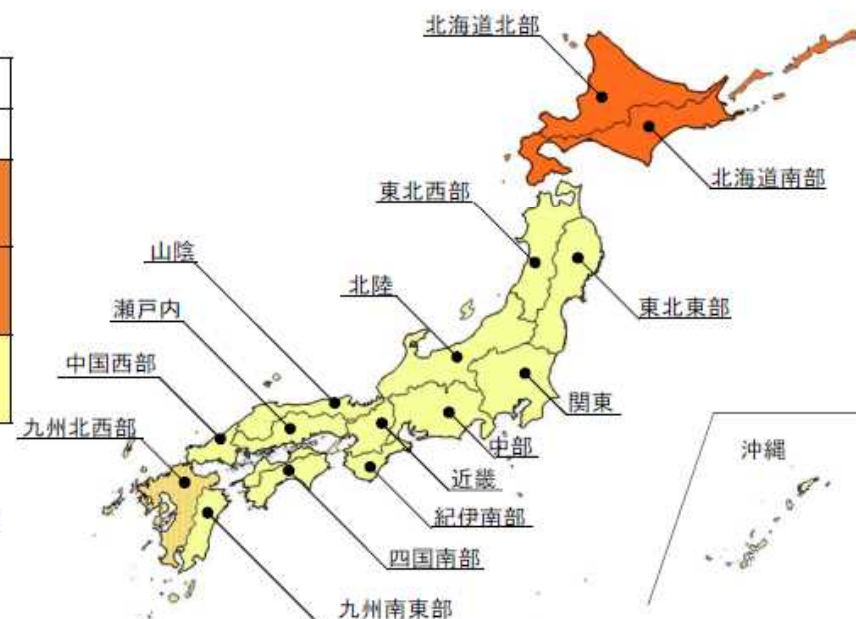
＜気候変動に伴う降雨量や洪水発生頻度の変化＞

- 降雨特性が類似している地域区分ごとに将来の降雨量変化倍率を計算し、将来の海面水温分布毎の幅や平均値等の評価を行った上で、降雨量変化倍率を設定。
- 2℃上昇した場合の降雨量変化倍率は、北海道で1.15倍、その他(沖縄含む)地域で1.1倍、4℃上昇した場合の降雨量変化倍率は、北海道・九州北西部で1.4倍、その他(沖縄含む)地域で1.2倍とする。
- 4℃上昇時には小流域・短時間降雨で影響が大きいいため、別途降雨量変化倍率を設定する。

＜地域区分毎の降雨量変化倍率＞

地域区分	2℃上昇	4℃上昇	
			短時間
北海道北部、北海道南部	1.15	1.4	1.5
九州北西部	1.1	1.4	1.5
その他(沖縄含む)地域	1.1	1.2	1.3

- ※ 4℃上昇の降雨量変化倍率のうち、短時間とは、降雨継続時間が3時間以上12時間未満の3時間未満の降雨に対しては適用できない
- ※ 雨域面積100km²以上について適用する。ただし、100km²未満の場合についても降雨量変化倍率が今回設定した値より大きくなる可能性があることに留意しつつ適用可能とする。
- ※ 年超過確率1/200以上の規模(より高頻度)の計画に適用する。



＜参考＞降雨量変化倍率をもとに算出した、流量変化倍率と洪水発生頻度の変化の一級水系における全国平均値

気候変動シナリオ	降雨量	流量	洪水発生頻度
2℃上昇時	約1.1倍	約1.2倍	約2倍
4℃上昇時	約1.3倍	約1.4倍	約4倍

- ※ 2℃、4℃上昇時の降雨量変化倍率は、産業革命以前に比べて全球平均温度がそれぞれ2℃、4℃上昇した世界をシミュレーションしたモデルから試算
- ※ 流量変化倍率は、降雨量変化倍率を乗じた降雨より算出した、一級水系の治水計画の目標とする規模(1/100～1/200)の流量の変化倍率の平均値
- ※ 洪水発生頻度の変化倍率は、一級水系の治水計画の目標とする規模(1/100～1/200)の降雨の、現在と将来の発生頻度の変化倍率の平均値(例えば、ある降雨量の発生頻度が現在は1/100として、将来ではその発生頻度が1/50となる場合は、洪水発生頻度の変化倍率は2倍となる)

平成28年～令和3年の災害発生状況

